

# 育った時代背景と変化を理解し、早期離職を防ぐ Z世代の育て方研修 ～Z世代の価値観に合わせた育成手法を学ぶ～

## 【研修のねらい】

従来の価値観を押し付けず、“Z世代”といわれる昨今の新人・若手が育ってきた時代背景と変化について理解を深めた上で接することは、“早期離職”を防ぐとともに、若手が社内外で活躍する有望な人財へと成長する職場環境づくりにも必要なことです。

当研修は、Z世代の育った時代背景を踏まえ、価値観や考え方を理解し、効果的な指導方法を身につけることをねらいとしています。

## 【研修の到達目標】

- ① Z世代の生きてきた時代背景と価値観を理解する
- ② Z世代の価値観に合わせた育成方法を習得する
- ③ Z世代の育成において求められる指導者のあり方を理解する

上司の背中を見て育つ時代は終わり、今は一人ひとりの個性に向き合って育成する時代となりました。これまで関わりのなかった中堅層やミドル層にとって、Z世代の若手は未知の存在かもしれません。

研修ではZ世代と言われる今の若手が育ってきた時代背景を振り返り、若手の価値観を知ることで、彼らとどのように関わっていくべきかを考え、個性に向き合う育成のポイントと指導者の在り方をつかみます。

◆日 時： 令和5年7月27日(木) 13:00～17:00

◆会 場： 日本製鉄鹿島人材育成センター(鹿嶋市光953-16 TEL:0299-90-3611)

◆対 象： 管理職・職場リーダーなど若手を指導される立場の皆様

・Z世代の新人・若手と年齢が離れていて指導に悩んでいる方

・Z世代の新人・若手と常識や価値観のギャップを感じ、関わり方に悩んでいる方

◆定 員： 30名 ※最小催行人数(15名)に達しない場合、中止となることがありますのでご了承願います。

◆参加費： 会員 7,000円/名 <会員外 21,000円/名>

【申込方法】 次頁の参加申込書に必要事項をご記載の上、7月20日(木)迄にメール又はFaxでお申込み下さい。

お申込み頂いた方には事前に参加票および請求書をお送り致します。

【支払方法】 銀行振込(開催翌月の月末迄の振込み)にてお支払い下さい。

【振込先】 常陽銀行本店 普通預金口座 No.6501 口座名：一般社団法人茨城県経営者協会

※お振込の際、貴社名の前に「727」と入れてお振込頂きますと処理上大変助かります。※例「727〇△×商事」

【お問合せ】 (一社)茨城県経営者協会 事務局(担当：澤畑英史)

〒310-0801 水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11階

Tel:029-221-5301 Fax:029-224-1109 Eメール:sawahatah@ikk.or.jp

**講師：(株)インソース 講師 山崎 和加代(やまざき わかよ)氏**

### 【略歴】

- ・大手航空会社入社。国内線、国際線客室乗務員を経験。最年少で国際線チーフパーサーに昇格
- ・スーパーバイザーに昇格。政府公式訪問便のフライトを担当しつつ、管理職として教育指導に従事
- ・グループ調査研究機関にて地方創生、産学連携事業や大学、専門学校で講義を担当
- ・IT企業へ入社。管理職として、障害・介護など様々な事情を抱えた部下のマネジメントを経験
- ・警備保障会社顧問を経て、2019年よりインソース講師として活躍

■指導分野 管理職研修、リーダーシップ、OJT、評価者、コーチング、ハラスメント、メンタルヘルス、タイムマネジメント、プレゼンテーション、クレーム対応、CS、コミュニケーション、マナーほか

## 【研修内容（予定）】

時間	研 修 内 容
13:00 ～ 17:00  途中適宜 休憩あり	<p><b>1. Z世代とは何か</b></p> <p>(1) 世代区分としてのZ世代の位置づけ            (2) Z世代を取り巻く環境の特徴（地球環境問題、コミュニケーション手段としてのSNS浸透、オンラインで接する機会、稼ぐ手段の多様化）            (3) 世界と日本のZ世代の違い</p> <p><b>2. Z世代が育った時代背景を知る</b></p> <p><b>3. Z世代の特徴を知る</b></p> <p>(1) 働き方における好み            ①自由度のある働き方を求める ②ワークライフバランスを常識とする            ③楽しく働くことを重視する</p> <p>(2) キャリアに対する志向            ①常に念頭にある「別の働き方」というオプション ②強いスペシャリスト志向            ③出世よりもやりがい ④副業やパラレルキャリアへの関心</p> <p>(3) 会社や職場との関わり方            ①「競い合う」よりも「助け合う」ことを好む ②オープンであることを好む            ③成果主義であることを好む ④ウェットなコミュニケーションは好まない</p> <p>(4) 社会との関わり方            ①社会課題に対する高い意識 ②多面的な自分で社会と関わる</p> <p>(5) お金やモノに対する考え方            ①保守的で実用主義 ②共感できるものには糸目をつけない ③「チル&amp;ミー」</p> <p>(6) ゆとり世代との違い            ①従順な「ゆとり世代」、意見する「Z世代」            ②コスパ志向の「ゆとり世代」、タイパ志向の「Z世代」</p> <p><b>4. Z世代のタイプに合わせた育成方法</b></p> <p>(1) 特徴的な4つのパターン（承認欲求ドライブ型、社会貢献ドライブ型、安定志向型、プライベート重視型）            (2) 部下のモチベーション軸を把握する</p> <p><b>5. 求められる指導者の在り方</b></p> <p>(1) 「なぜやるのか」を説明してから指示を出す            (2) OJTでもメンターの立ち位置で            (3) ほめるよりも貢献に感謝する            (4) 競わせるとパフォーマンスが下がる？            (5) Z世代の育成に不可欠な「心理的安全性」</p> <p><b>6. ケーススタディ</b>            納得しないと動かない部下、繁忙期でも自分の仕事だけ片付けて帰ってしまう部下、自分の希望するキャリアから外れてモチベーションの下がっている部下 etc</p>

## Z世代の育て方研修（7/27）参加申込書

Fax：029-224-1109 Eメール：sawahatah@ikk.or.jp（澤畑行き）

申込日：令和5年 月 日

会社名	
所在地	〒
参加者氏名	
所属	
参加者氏名	
所属	
お申込ご担当者 所属・氏名	Tel Eメール

※ 上記データは、当日の名簿配布並びに協会運営以外の目的では使用しません。参加企業様の権利利益を損なうことの無いよう努めます。